
中里どろんこ保育園

令和5（2023）年度

福祉サービス第三者評価結果報告書

株式会社 学研データサービス



1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>1)「にんげん力」を身に付けるために必要な遊び・野外体験を提案実践し”自分で考え、行動する思考”を育みます。 2)10よりも100の経験を与え、子どもが”したいと思う活動”を安全に行えるように見守り、支援してゆきます。 3)”感じたこと・考えたこと”を言葉でジェスチャーで、表情で、描いて、造って、表現できる子どもを育成します。 4)「0を1にかえる力」を日本中の子ども達につけ、物事を投げ出さずに向き合う若者が社会を支える世の中を創ります。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>・保育現場で求める人物像 現状に満足せず自己の成長を常に意識している人 やって見せてあげて背中であげて教える人 より良い保育を目指して創意工夫していける人</p> <p>・社会人としての質向上 忙しさや大変さを表情や口調に出さず、いつでも笑顔で心がける。お願いします、ありがとうございます、など仕事中の言葉遣いに注意し、正しい日本語を身に付ける。子ども全体を見て自分が今、何をすれば良いのかを判断して、自ら行動したり、提案する。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>・保育士としての質向上 子どもの命を預かる重みを自覚し、守らなければいけないことを遵守し、常に平常心で子どもと接する。後輩には自分の知識を教え、育てる気持ちを持ち、一人ひとりがリーダーになるという気持ちで責任を持って保育を行う。</p>

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	保護者は園運営の方針に共感し、行事の際には積極的に参加し、様々な協力をしています
	内容	自主的な父母会である「どろんこサポーターズ」や父親の会「おやじの会」に参加している保護者を中心に、園行事に多くの保護者が積極的に参加し協力しています。夏に開催する「どろんこ祭り」では、設営や運営を主導し、「日本の夏祭り」を再現しました。運動会では地域の方々の参加競技を運営し、受付や会場内の見回りなどを担当しています。川遊びでは水辺の危機管理を園内研修で学んだスタッフと保護者が事前にポイントを共有し、子どもたちはライフジャケットを着用し、流された時の注意点や危険物からの身の守り方を学ぶ機会となっています。
2	タイトル	保育理念実現のため施設長が率先して行動し、充実した研修などが保育の質を支えています
	内容	どろんこ会グループは目ざす保育理念や子どもの姿に強い思いがあります。スタッフ育成のために独自の研修を実施し、本部と園が連携して園運営に取り組んでいます。園内の「コンピテンシー研修」や本部の子育ての質を上げる会議、施設長会議、主任会議、社内限定講座などが実施されています。また、スタッフ間のコミュニケーションが良く取れ、情報共有と人間関係が良好な状態です。施設長が率先して行動し、研修で得た学びや業務改善への提案は様々な園内会議、昼礼などで積極的に意見を出し合い、スタッフは前向きに保育の質の向上に努めています。
3	タイトル	リーダー層が中心となりスタッフの意見を引き出し、課題に全員で話し合う園運営を実践しています
	内容	施設長や主任が物事を決めてしまうのではなく、スタッフが様々な視点から考え、活発な意見交換をしています。園内で検討している案件は自分事として、直接関わらずに生じた課題についても、どうすれば改善できるか考え取り組んでいます。また、リーダー会議で話し合った内容を、リーダー層から乳児会議や幼児会議でそれぞれのスタッフに説明していく事で、より身近に感じ、具体性がある話し合いになっています。自分の考えをまとめ、わかりやすく伝える事でリーダーの資質は向上し、園内研修の講師を担うなど、自身の成長にも繋がっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	地域貢献となるよう保護者のニーズを把握し、地域子育て支援事業の展開を期待します
	内容	コロナ禍であったこともあり、地域子育て支援事業として園開放、子育て相談、自然食堂、芸術学校、青空保育などに取り組んでいますが、この3年間は参加者が少ない傾向が続いています。今年度はチラシ配布や近隣施設へポスターを掲示した事もあり、地域の方の参加者は増えてきましたが、さらに周知を広げ認知を高めることが必要であると考えています。保護者のニーズ把握に努めながら、市の地域事業活動として「おはなしかご」や身ぶりや表情だけで表現する演劇などを企画しています。地域の一人としてさらに地域貢献を充実される事を期待します。
2	タイトル	保育室内の環境整備については、環境構成とスタッフの意識を高める取り組みに期待します
	内容	保育室の遊びの環境整備では、コーナー保育やゾーン保育を取り入れて、異年齢保育の中でも子ども一人ひとりが遊び込める空間作りをしています。室内環境は適宜見直して、発達に合わせた玩具の入れ替えを行い、棚やパーティションの仕切りを変更し整理整頓しやすくするなど、物的環境を定期的に見直しています。しかし、その日のうちに室内を元通りに戻さない事や、パーツが欠損した玩具をそのままにするなど、片付けが後回しになる場合が見られます。翌日の活動がしやすい状態に整える事についてもスタッフの意識を高める取り組みに期待します。
3	タイトル	保護者の立場になって、子どもの様子や心情の変化などを丁寧に伝えていくと良いでしょう
	内容	お迎え時に保護者に伝える内容が全体的なものとなり、子どもの一人ひとりの様子や心情の変化まで伝えきれない事によって、保護者の不満となっていく場合があります。保護者とのコミュニケーションの取り方はスタッフのスキルによって差があり、その改善のため園内研修を重ねてきた事で全体的に質が高まっていますが、意識しすぎてうまく言葉が選べない場面も見られました。さらに伝達内容のポイントの捉え方や、フィードバックの仕方を系列園のエリア研修などで身に付け、保護者の立場になって丁寧な対応を実践していくと良いでしょう。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	「原点回帰」をテーマに日課の流れ、保育内容を見直し子ども主体の保育を行っています	
内容①	<p>昨年度より日課の流れや保育内容について振り返りを行い、なぜ今この取り組みが必要であるのか、ねらいや目標は何かを意識して保育の組み立を行っています。大人が誘導するのではなく、子どもが自ら考えて行動することを容認し、見守ることで子ども主体の保育に繋がるよう目ざしています。畑活動や動物の世話、雑巾がけなどの毎日の日課は、やらなくてはならないのではなく、やりたいという気持ちを引き出せる関わりや、意義や目的を伝えて大人も一緒に行っています。子どもからのアイデアや興味を生かし、主体性の尊重を大切にしています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル②	食育については年齢に合わせた学びや体験に取り組み、興味や関心が高まっています	
内容②	<p>食育計画では年齢に合わせた内容を、栄養士とクラス担当者が話し合いながら、経験して欲しいことを落とし込んでいます。園内には食育活動の様子をドキュメンテーション形式で、そら豆のさや取り、マグロの解体、梅仕事（梅ジュース作り）、柿ジャム作り、焼き芋、味噌作りなど四季折々の活動の様子を掲示し、保護者や園見学者に分かりやすく伝えています。本年度はマグロの解体、鶏をさばくという2つの食育を通して、「命をいただく」ということとはどういふことか、口に入るまでに様々な人が関わっているなど、実体験からの学びを大切にしています。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	園庭や周辺環境を活用し、他園にない自然の恵みを生かした保育活動を実践しています	
内容③	<p>園庭や周辺に雑木林や河川敷のある恵まれた環境を生かして、十分に体を動かすことができる時間を確保しています。春は桜、秋は紅葉などから季節の移ろいを感じる、園庭のドングリ、柿、栗、梅の木を生かした製作やクッキングなど、自然の恵みを保育に生かしています。川遊びでは研修を受けた職員が中心となり、保護者も巻き込んで他園にはない活動の提供を行っています。発表会では焚火体験も取り入れて、自然の驚異や注意点を年齢に合わせて分かりやすく伝えて理解に繋げることで、子ども自身で考えて行動できる機会にしています。</p>	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当
	カテゴリー1の講評	
	運営理念などについて、様々な機会にスタッフや保護者の理解を深めています どろんこ会グループの「運営理念」や「子育て目標」などの目ざす姿は、毎年開催する法人全体研修で法人代表が理念や方針を直接スタッフに伝え、各種マニュアルに明示しています。園内では策定会議や3月のキックオフミーティングなどで理解を深め、園目標や事業計画を策定しています。新卒スタッフには配属される園でOJT研修を3月に実施し、実務を通じて理解を深めています。保護者には入園のしおりを配付して園見学や個別面接時に丁寧に説明し、父母会「どろんこサポーターズ」や参加行事の際にも伝え、玄関に資料を掲示し周知しています。 施設長は「運営本部Mission」を基に具体策を示し、園運営を常に牽引しています 施設長はどろんこ会グループの理念や方針の実現に向け、12月に運営本部が発表する「運営本部Mission」を基に園が取り組む具体策を示し、事業計画やスタッフ個々の目標設定に反映しています。日々の保育活動が子ども主体の保育になっているか、会議などで常に確認し、半期ごとの振り返りや適切なアドバイスを行い、リーダーシップを発揮し園運営を牽引しています。施設長のスタッフに対する思いとしては、一人ひとりの心身が健全な状態を保ち、自己肯定感を持ち主体的に仕事に取り組み、全員が主役となって行動していく事を目ざしています。 検討し決定すべき案件は、園会議などでスタッフの合意を形成し決定しています 検討すべき案件についてはトップダウンで決定するのではなく、施設長と主任で共通認識を持ち、リーダー会議で検討した上で内容に合った適切な会議でさらに話し合い、園会議でコンセンサスを形成し最終的には施設長が決定する事を原則としています。その内容や経緯は会議議事録を作成し、確認後には押印簿に押印し伝達漏れがないルールになっています。口頭伝達やシッターノートで伝える場合もあります。保護者へ重要な案件の伝達は、随時おたよりの配付や連絡用アプリで配信し、送迎の時などに改めて口頭で伝え、必要に応じ個別対応しています。	

カテゴリ-2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ-1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリ-2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリ-2の講評		
<p>保護者やスタッフから常に情報や意見を確認し、園運営に生かしています</p> <p>保護者の意見は、年2回開催する懇談会でのクラス話し合いや独自のアンケートなどのほか、連絡帳や送迎時の会話を大切に、希望者との個別面談や意見箱から、常に情報や意見を把握し園の運営に生かしています。スタッフからの意見や提案は、年3回の個人面談時に目標設定、進捗状況確認、意向確認を行い、乳児会議や幼児会議、リーダー会議における課題検討時の発言などからも把握し、全体的課題は園会議の議題としています。さらにアンケート方式の内部監査や巡回指導を定期的実施し、課題箇所があれば是正計画を立案し対応しています。</p> <p>どろんこ会グループの中期計画と連動した、園の単年度事業計画を策定しています</p> <p>どろんこ会グループの2024年から3年間の中期計画と「運営本部Mission」の方針を基に、園の単年度事業計画を策定し、3か年計画は子ども、保護者・地域、スタッフの3つの視点から目ざす姿と重点施策を示し、単年度事業計画の中に位置づけています。全体研修や策定会議などにはスタッフが参加し、自らが検討した計画となって共通理解が図れています。計画推進はリーダー会議や園会議、毎月の施設長会議などで確認し、スタッフとの個別面談でも進捗状況を確認しています。事業報告書は1年間の取り組みを振り返り、総括を明記しています。</p> <p>事業計画の実現を目ざし、福祉ニーズや動向を捉え堅実な取り組みとなっています</p> <p>地域の福祉ニーズについては、市園長会やどろんこ会グループのエリア4園の施設長会議などから情報を得ており、現状では利用者の利便性を高める消耗品の定額利用制度などがあります。福祉事業全体の動向については、法人内勉強会や研修、Webでの社内情報、行政情報などから学び、選ばれる園となるため園運営に反映しています。毎月の経営状況は予算管理表で把握し、計画的に収支バランスの適正化などを行い、定員に対しての入所者数を指標として、本部と連携し様々な情報を基に入所者数向上のための対策を講じ、事業計画実現を目ざしています。</p>		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

保育品質マニュアルや研修などにより、法、規範、倫理を遵守する意識が高まっています

保育品質マニュアルやコンピテンシー冊子(高い成果を出す人の行動特性)を全スタッフに配付し、就業規則や社内報などでも守るべき法、規範、倫理を示しています。定期的に「児童・保護者の人権に関するチェックリスト」によって、子どもの人権を養護する行動を確認し、保育者としてどのように取り組むのかを学び、毎月の園会議において「コンピテンシー研修」、情報セキュリティチェックやコンプライアンスチェックを定期的実施し理解を深めています。これらの取り組みにより、スタッフの法、規範、倫理を遵守する姿勢は非常に高まっています。

苦情への対応は組織的に迅速に対応するため、体制を整え保護者に周知しています

苦情への対応は組織的に迅速に対応するため体制を整え、「入園のしおり」への記載や、保護者向け閲覧ファイルに「苦情対応体制・窓口」の資料を綴じて玄関に設置し、保護者に周知しています。苦情や意見などは電話、口頭、メール、書面、面談、園玄関設置の意見箱などで受け付けており、施設長へ申し出る事を基本にしていますが、場合によっては本部や第三者委員にも相談できる事も伝えていきます。苦情の申し出があった場合は法人の本部担当課長に即時報告し、報告書を作成して、園としての解決策や改善に向けての対応を実施していきます。

人権擁護のため各種研修に取り組み、関係機関と連携し組織的な対応をしています

人権についてはキックオフミーティングでの研修や人権に関するチェックシートで年2回確認し、虐待防止研修、個人目標の一つとするなど常に意識を高めています。スタッフの不適切な言動を感じた場合は指摘していく事や、施設長や本部担当課長に報告するよう定め、内部通報システムも導入しています。園で虐待と疑われる情報を得た時には、本部担当課長に即時報告すると共に関係機関と連携し対応していきます。地域との関係性を深めるため、子育て支援拠点として離乳食講座などを実施し、実習生やボランティアは延べ50名ほど受け入れています。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>様々な状況を想定して、毎月の避難訓練や、事故を分析し防止対策を実施しています</p> <p>避難訓練、不審者侵入対応訓練、水の事故に対する訓練など、異なる状況を想定して、子どもの命を守る事を最優先に毎月様々な訓練を実施しています。不審者侵入対応訓練や交通安全を実施する際には地元の警察署が協力し、防犯に関するアドバイスも受けています。また、見失いや置き去り事故防止として、戸外活動時には人数確認リーダーを定め、活動中に何回もダブルチェックを実施し万全を期しています。事故防止委員会は重大事故等を分析し、再発防止に努め、リスクマネジメント研修でヒヤリハットの確認や危険察知能力を高めています。</p> <p>クライシスマニュアルに大災害時の事業継続について、対応方針と活動を明記しています</p> <p>大災害発生時の事業継続に関する計画は、どろんこ会グループの「クライシスマニュアル」に示しています。大災害発生時には法人本部に対策本部を設置し、司令塔の役割を担っていきます。早期復旧を旨とするための初期活動はフローチャートにし、通信インフラが機能していれば、社用スマートフォンで対策本部と園の情報共有を速やかに行い活動していきます。保護者には災害時の対応について重要事項説明書や連絡用アプリなどで周知しています。園の近隣に居住しているスタッフが多く、安全を確保した上で参集し、事業継続に取り組む計画となっています。</p> <p>各種規定などについてスタッフの理解を深め、デジタル情報の管理体制も構築しています</p> <p>情報管理については秘密情報管理規程や特定個人情報取扱い規定などを定め、年に2回「情報セキュリティチェック」を実施しています。デジタル化した機密情報については園内と本部のサーバーに保管し、使用するパソコンを限定して個人アカウントとパスワードの設定によりアクセス制限をし、外部記憶媒体の使用禁止など機密保持に努めています。貸与したスマートフォンにはパスワードを設定し、情報確認や入力、保育の様子を撮影しています。画像データは使用后1週間以内に削除し、紙媒体は鍵付きの書庫で保管し鍵は施設長が管理しています。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

カテゴリー5の講評

どろんこ会グループの理念に共感した人材の採用を目ざし、園見学などを行っています

どろんこ会グループが求める人材は、ホームページの採用情報や求人サイトで周知しています。採用活動は本部の人事採用部に一本化し、新卒入社説明会で法人の理念などを説明し、希望者は園見学や個別面接を行い、理念に共感した人材を採用しています。園では実習生対応、園見学、スタッフの出身養成校への説明などを行っています。異動や配属についてはスタッフとの個別面談によって、個人の思いや意向、育成の方向性などを確認し、成長に繋がる環境で就業できるよう運営本部担当者で共有し、総合的に判断し定着に結び付くよう決定しています。

等級制度や目標管理制度を定めた人事制度は、キャリアパスの取り組みとなっています

どろんこ会グループの人事制度は、等級、評価、報酬などを定め、等級ごとに求められている職務や職責、昇級や昇格の基準を示しています。評価については事業計画と連動した目標管理制度を導入し、部門と個人の取り組みを設定し、その達成状況から昇級や報酬と連動していきます。スタッフは設定した目標について、業務進捗状況を年間3回施設長との面談を通して確認しアドバイスを受け、次年度の目標設定に反映していきます。これらの一貫性ある取り組みは2023年度から運用が始まっており、スタッフの意欲を高め、成長に繋がっています。

スタッフの働きやすさに配慮し、協力してチーム保育を実践する環境となっています

スタッフの就業状況は適正なワークライフバランスや働きやすさに配慮し、残業時間削減、有給休暇取得、休憩時間確保などに取り組み、シフト表の作成前には希望を確認しています。本部研修や外部研修など研修の機会も多く、得た知識は全員で共有します。施設長との面談では目標の進捗確認や悩みへのアドバイス、改善提案を話し合う場となりました。具体的には議題を会議前に集約し伝える事を実現し、会議は充実し効率が高まりました。良好な人間関係や明るく働きがいのある職場環境となり、協力してチーム保育を実践する職場となっています。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度の重要課題として「子どもの姿に沿った環境の実現」を掲げました。課題とした背景には、スタッフのスキル向上や保育室内外の環境構成を定期的な取り組みとして充実、定着させていく必要がありました。取り組みは四半期ごとにリーダー会議、乳児・幼児会議内で現状を確認し、子どもの興味や関心を引き出す環境をどのように設定したら良いのか話し合い、人的環境として、スタッフは園内研修を通じて自身の保育の振り返りや新しい取り組みに挑戦し、成長を目ざしていきました。物的環境については、環境整備の期日を設け定期的に見直していきました。取り組みの結果、人的な面では、子どもへの言葉選びや肯定的な言葉かけを意識するよう園内研修を実施し、「子どもを否定しない」という原点を学びました。物的な面では期日までにおもちゃやその配置などを定期的に整備、見直したことで、保育室内の環境が充実してきました。さらに園庭にある泥場の土を定期的に補充することで、子どもの遊びが盛り上がってきました。その結果、スタッフの環境に対しての意識が深まっていきました。今年度においては、引き続き子どもの姿に沿った環境の充実に取り組み、保育の質の向上を目ざしています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

課題への取り組みは、事業報告書作成時に項目ごとに振り返り検証していきました。子どもへの言葉選びや肯定的な言葉かけについては、本園のスタッフが講師を努め園内研修を実施していきました。スタッフは資質向上になるため前向きに捉え、「子どもを否定しない」という原点を強く認識できました。また、子どもの発達に沿った玩具の研修から、子どもの行動から必要な環境を読み取り、環境構成スキル向上に繋がり、保育室内の棚の位置を変える事で、ブロック玩具を製作途中に展示し数日間継続して取り組むようになっていきました。副次的な効果として、子どもはおもちゃなどの環境の変化に合わせ、遊びのルールを考え主体的な行動をとるようになってきました。また、保育室内の環境整備により子どもの動線が変わり接触が減ってきました。一方、人的な面では個人差があるため研修の必要性を感じています。今後も引き続き取り組み、第三者の目で子どもの姿を捉えることや、肯定的な言葉の置き換えを園内研修で学んでいきます。今年度は保護者の理解を図りながら園庭環境の整備に取り組み、具体的には園庭のスライダーを6月に撤去するなど、子どもの安全性を確保する環境を実現しています。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

前年度二つ目の重要課題は、「日々の保育の様子を記録し、その発信により園の透明性を高める」としました。課題とした背景には、スタッフはより深くその日の保育を振り返り、写真を用いて日々の保育を記録し、保護者や地域の方へわかりやすく伝え、地域に根差した園となっていくという思いがありました。その取り組みとして、保育記録は当日の日中に記載し、写真と結びつけてドキュメンテーションを作成していきました。保護者懇談会時や園内行事後には、一週間以内に必ず作成し玄関や園内の壁に掲示していきました。日々の保育の記録は省察(日案の振り返り)にして残すことで、より明確に「ねらい」から「活動の様子」「保育者の振り返り」を記載できる仕組みに作り上げていきました。取り組みの結果、日々の日誌を写真記録として活用することで、子どもたちや保育の様子を振り返る機会が出来てきました。それを元に、「私たちが育てる6つの力」と、保育活動の関連性を明確にしたドキュメンテーションを作成し、保護者の見えるところに年間を通して掲示していく事ができました。今年度においても継続して取り組み、年間を通して日々の保育の様子を発信し、園の透明性を高めています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

法人根幹の取り組みとして、けがをしなない強い体を育てる、自分でできることを自分でする、全ての人との関わりから判断力と行動力を身につける、活動を選択し自分で考えて行動する、生死を知り食の循環を知る、感じたこと考えたことを表現するなど、「私たちが育てる6つの力」としてしています。しかし、目指す保育についてどのように理解しているのか、状況をどのように受け止めているのか、保護者の真のニーズを含め把握することは難しいと感じていました。課題への取り組みによりスタッフは保護者との会話が增え、保育活動の振り返りが明確になっています。保護者はドキュメンテーションによって理解が深まり家庭での会話も増え、想定以上に調理についての関心が強いことがわかり取り組みの成果が出ています。一方で、作成時間に個人差があり、勤務時間中に記録に残すことが課題となっています。今後は、保護者懇談会などでも家庭の反応をさらに考察し、引き続き工夫し透明性ある情報発信を目ざしています。今年度の具体的な取り組みとして、日課の充実を図りながら保育5領域との関連を明確にしたドキュメンテーションを乳児クラス全体、幼児4クラスごとに作成し毎月玄関ボードに掲示しています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	○非該当	
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
	○非該当	
サブカテゴリ1の講評		
<p>ホームページでのブログ発信やパンフレットなどを活用して園の情報を提供しています</p> <p>どろんこ会グループのホームページは全園のホームページとリンクしており、各園の基本情報、毎月の活動や行事、お知らせなどを掲載しています。ブログの発信も行い、子どもの生き生きとした表情を載せて、活動内容がわかりやすい構成になっています。入園のしおりは主に園見学者に配布しており、運営理念、子育て目標などの基本姿勢に加えて、裸足保育、雑巾がけ、畑仕事、異年齢保育、「銭湯でお風呂の日」などのどろんこ会グループの保育活動の方針や特長、取り組みを具体的に示しており、理解した上で入園を希望できるようにしています。</p> <p>市のホームページに園の基本情報を掲載し、必要な情報を入手できる体制を取っています</p> <p>市のホームページの保育園一覧に、園の所在地、開園時間、受け入れ年齢、定員、欠員情報、地図などの基本情報を掲載して、地域の人が必要な情報を入手しやすい体制を整えています。同時に本園のホームページへリンクしており、さらに詳細な情報を知りたい人のニーズにも対応しています。市が発行している市内の保育園情報が掲載されている冊子にも、園の基本情報を掲載しています。園開放などの地域子育て支援のお知らせは、支援センターや近隣のスーパー、系列園などにも掲示して、多くの人々が来園し、参加するよう取り組んでいます。</p> <p>毎年多くの園見学希望に対応し、実際の保育の様子を見てもらえる機会を確保しています</p> <p>毎年多くの園見学希望があり、日程調整して実際の保育を見学する機会を確保しています。見学者には園のしおりに沿って日課、保育内容の特長についての説明を行い、年齢に合わせた保育のねらいについても理解してもらえるよう努めています。どろんこ会グループが目ざしている保育について丁寧に説明を行い、具体的には「足指で地面をとらえる力を育てる」事を目的にした裸足保育の導入、3歳児以上のクラスは毎月1回「銭湯でお風呂の日」がある事、命の教育に取り組んでいる事など、本園が提供している保育への理解が進むよう努めています。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園のしおりや重要事項説明書などで、園の基本的なルールを説明しています</p> <p>入園前面談では入園のしおりに沿って、保育方針、目標、保育内容など保育全般に関わることや、利用料金、延長保育、登園の際に医師の診断書が必要な疾病の説明など、集団生活を送る上での基本的なルールを伝えています。面談の最後には重要事項説明書において、説明漏れがないかチェックをしながら保護者と再度確認する体制を取っています。面談の内容は、「入園前面談表」に既往歴、発育について、食事、アレルギーの有無、発達全般など入園までの家庭状況について記録し、会議で共有して統一の支援方法について検討しています。</p> <p>慣れ保育については保護者の希望や就労状況に合わせて個々に期間を設定しています</p> <p>入園前面談で保護者からの意向や要望、配慮してほしい点についてはクラス担当者間で把握して、新生活に馴染めるよう環境設定や関わりを統一して対応しています。慣れ保育は必須ではありませんが、保護者の就労状況や希望を聞きながら対応しています。希望があれば最初は短時間の滞在から始めて、子どもの様子を見ながら次の日の保育時間を決めていくなど臨機応変に対応しています。入園直後は連絡帳と口頭でも子どもの様子をスタッフから丁寧に伝えて、共通理解を図ることで、保護者との信頼関係を築いていけるよう働きかけています。</p> <p>小学校入学に向けて学校と連携を取りながら、スムーズに移行できるよう配慮しています</p> <p>小学校入学に向けては幼保小の連携会議に出席して、小学校に向けて必要な準備について情報収集しています。保護者の意向を確認して、必要に応じて指導要録を入学先の学校に提出して、園生活と連動性を持たせることで小学校生活がスムーズに送れるように配慮しています。スタッフが一年生の授業を見学に行き、入学前に必要な取り組みがあれば保育の中に生かしていく事で、自信を持って小学校に進めるよう支援しています。卒園児には「どろんこ祭り」や運動会に参加できる機会を設けて、園に遊びに来やすい環境を整えていけるよう努めています。</p>		

サブカテゴリ-3

3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリ毎の
標準項目実施状況 13/13

評価項目1
定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

評価項目2
全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当

評価項目3
子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当

評価項目4
子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当

サブカテゴリ-3の講評

入園後の子どもの成長は所定の様式に記録して、職員間で発達状況を把握しています
 保育日誌にはその日の子どもの姿と保育士の感想を記入して、担当職員間で気づきを共有しています。2歳児クラスまでは毎月個別計画を立案して、成長に合わせた支援方法について職員間で統一し、個々に合わせた関わりを行っています。3歳児以上のクラスでは3か月に一度、児童票の個別記録にできるようになった事、興味や関心のある事などを記入して成長過程を把握しています。複数担任のクラスでは、クラス会議で子どもの姿を共有して記録していく事で、子どもの成長について担当職員間で共通認識を図れるようにしています。

全体的な計画を基に年間指導計画などの計画を立案し、子どもの育ちを支援しています
 全体的な計画には、毎年「園の目標」を掲げており、職員間で話し合っって目標を決めています。本年度は「伝える勇気と受け止める優しさをすべての者へ」として、子どもが発信したことを見逃さず、受け止めていけるよう目ざしています。全体的な計画は毎年見直しを行い、子どもの成長に寄り添いながら卒園までに目ざす10の姿を計画に盛り込んでいます。年間指導計画や月案、週案なども全体的な計画と連動しており、年間を通じて年齢や発達に合わせた学びや体験を積み重ねていき、子どもの育ちを支援しています。

園会議などで情報共有や課題を話し合い、全スタッフで子どもの成長を引き出しています
 園会議、乳児・幼児会議において、各クラスの様子や配慮が必要な子どもについて状況を確認し、必要に応じて情報共有しています。配慮が必要な子どもについては、遅番や早番などで他クラスのスタッフも支援に入る事があるため、課題を出し合い事例研究を行いながら対応方法について検討しています。クラス担当者から子どもへの声かけや指示の出し方などについては具体例を話し合っていますが、他クラスのスタッフからの気づきやアプローチの方法を報告し合うことで、新たな気づきに繋がっており、全スタッフで子どもの成長を引き出しています。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>どろんこ会グループにおける個人情報保護の取り組みについて入園時に説明しています</p> <p>個人情報保護におけるどろんこ会グループの基本姿勢については、入園時に保護者に説明しています。個人情報については使用目的、情報の種類、情報管理、および第三者への情報提供などについて限定的に留めることを明記して、厳重な管理下で行う事としています。緊急時に、警察署、児童相談所、行政各所、医療機関などの公的機関に開示する際には、必要最低限の使用とする事を基本姿勢としています。写真、動画の園内における掲示、ホームページなど外部媒体への使用については、保護者に同意を得た範囲で行い、各家庭の意向を尊重しています。</p> <p>子ども主体の保育の提供が行えるよう環境整備やスタッフの資質向上に取り組んでいます</p> <p>子ども主体の保育について園全体で意識を高めていけるよう取り組んでおり、子ども自ら活動を選び、興味を示したり集中したりしている時には、スタッフは安全に留意して見守る姿勢を基本とし、主体性を尊重しています。本年度の園の目標である「伝える勇気と受け止める優しさをすべての者へ」にも、子どもが勇気を出して自分の言葉で伝えた時は、スタッフが優しく受け止める姿勢が必要である事や大切さを表しています。保育の中で常に子ども目線、主体性を意識して、環境整備や声かけに配慮しています。</p> <p>年2回人権チェックリストなどを活用して振り返りを行い、職員の意識を高めています</p> <p>毎年2回「保育品質マニュアル」の中の児童・保護者の人権に関するチェックリストを活用し、日々の保育について振り返りを行い、子ども一人ひとりを尊重した保育を常に意識しています。どのような行為が虐待に繋がるのか、虐待の定義について学ぶ事で不適切な保育に繋がらないよう園全体で取り組んでいます。注意をする時の声のかけ方、トーン、危険な時など、咄嗟の場合であっても体を引っ張らないなど、保育の中で生じる可能性がある事をピックアップして、スタッフとしてどのような行動が適切であるのか話し合う場を設けて意識を高めています。</p>		

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>「保育品質マニュアル」に基づき、どろんこ会グループ共通の保育を行っています</p> <p>どろんこ会グループ共通の「保育運営マニュアル」は各園に設置されており、マニュアルを基に全園統一の対応が取れるようにしています。スタッフには「保育品質マニュアル」を入職時に配付して、園運営に関する事や保育全般についてはマニュアルに沿って、スタッフ間で共通理解を図り、保育を提供しています。保育品質マニュアルは園会議で読み合わせを行い、マニュアルの理解を深めて保育の質を保てるよう努めています。夏のプールや避難訓練前には、必要な箇所は事前に読み合わせして手順や役割分担を確認しています。</p> <p>年2回の内部監査などを実施し、園運営の点検を行っています</p> <p>どろんこ会グループでは内部監査室による内部監査を毎年2回実施して、命や安全に関わる事、保育内容、環境など、運営に関する全般において、マニュアルに沿って適切に運営がなされているか確認しています。監査で指摘を受けた場合は、すぐに改善していきます。なぜ指摘を受けてしまったのか、職員間で業務の振り返りをして、手順を見直すなどの必要な対策を講じて再発防止に努めています。保育品質マニュアルに掲載がある病気、けが、衛生管理等のフローチャートは保育室内に掲示するなどして、保育中にすぐに確認するようにしています。</p> <p>保護者やスタッフの意見を聞き取り、より良い園運営に繋がるよう取り組んでいます</p> <p>毎年利用者アンケートを実施して、園運営への意見や感想を聞き取る機会を設けています。本年度のアンケートでは、園庭遊具を撤去した件について、その理由を問う意見などが寄せられました。安全性を第一に考える園の姿勢について丁寧に伝えた事で、保護者の理解が得られ、さらに園庭の使い方について保護者の理解を深める機会になりました。年度末にスタッフは次年度に備え展開したい保育について提案し、成長や発達を支援する保育の内容を話し合いながら決めるなど、子ども主体の保育実施を園全体で考える、職場風土となっています。</p>		

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>スタッフに全クラスのねらいなどを毎日配信し、子ども一人ひとりの支援を行っています</p> <p>子どもの日々の様子は、日誌のほか、0~2歳児クラスは月案に個別記録を作成し、3歳児以上のクラスは3か月に1度児童票に成長過程を記入しています。職員会議、乳児、幼児会議などではクラスの様子と全体で共有したほうが良い事例について報告し、園全体で支援方法などについて考察して、子どもの特性に合わせた保育を行っています。スタッフへは連絡用アプリで全クラスの日課、ねらい、けがなどの情報を個別に貸与しているスマートフォンへ毎日施設長から配信し、他クラスのねらいなどについても理解し子ども一人ひとりへの支援を行っています。</p> <p>年齢に合わせて保育室の環境を整える事で、成長に合った主体的な活動ができています</p> <p>0、1歳児クラスでは、年度初めはそれぞれの保育室で過ごし、クラスが落ち着いてくると2クラスと一緒に過ごす異年齢保育を行っています。保育室を広く使用できる事から、遊び、休息、食事の場所を別にして、活動と活動の切れ目や待ち時間が少ない、連続した保育にも繋がっています。遊びも静と動の活動を同じ空間に設置し、自分で好きな遊びを主体的に選べる環境が整っています。2~5歳児クラスも同じ空間で過ごす異年齢保育を実施しており、お互いが良い距離感を保ちながら助け合う姿を見ることができます。</p> <p>小学校への連携については見通しを立て、園内活動を立案して入学に備えています</p> <p>小学校入学へ向けては「小学校接続連携計画・アプローチカリキュラム」に沿って、近隣小学校から得た情報を保育に反映して、入学に備えて見通しを立て園内活動を行っています。近隣の小学校を訪問し、在校生と交流したり、校舎内を見学したりするなど学校生活に触れる機会を確保し、期待感を持てるようにしています。係活動においても、2、3歳児クラスの子どもを4、5歳児クラスが適宜サポートする、係活動に自発的に参加する、人前で発表するなどの経験を通して、小学校入学へ向けて自信を持てるよう支援しています。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当
評価項目2の講評			
<p>子どもの様子を注意深く観察して、体調不良を見逃さないような体制を整えています</p> <p>登園時には検温と子どもの様子を観察して、けがやあざ、体調不良を見逃さないよう、いつもと違う様子がないか確認しています。保護者からの伝達事項は「シッターノート兼お迎え伝達ノート」に記入して、クラス担当のスタッフに申し送りを行い、朝礼でも全体で共有しています。体調が優れない様子の子どものについては、いつもより検温や体調確認を増やして体調悪化の兆しを見逃さないようにするとともに、保護者の承諾を得て室内活動に変更する、牛乳をお茶に変更するなど、臨機応変に対応して無理なく保育を継続できるよう配慮しています。</p> <p>子どもの発達状況を把握し、新しい生活習慣を取得できるようにしています</p> <p>トイレトレーニングを始めるにあたっては、家庭の様子と保護者の意向を把握して、園と足並みを揃える事で子どもが負担に感じる事なく新しい習慣を習得できるようにしています。3歳児クラスからは毎月「銭湯でお風呂の日」があるため、オムツが外れると楽しい事が待っていると、前向きに取り組めるよう援助しています。離乳食は生活発表会の時に試食ができるブースを出して、形態や進め方、介助の仕方などを説明して保護者の理解に繋げています。2歳児クラスまでは、毎日の連絡帳に加えて口頭でも報告して、家庭と連携を図りながら進めています。</p> <p>保護者に子どもの詳細な様子を伝えていけるよう、園全体で課題として取り組んでいます</p> <p>降園時には3分間を目安に子どものその日の様子を伝える「3分間お迎え対応」を取り入れて、一人ひとりの保護者と顔を合わせるコミュニケーションを基本姿勢としています。お迎えが重なる時間には、保護者を待たせてしまう事や十分な時間が取れない、必ずしも担当が対応できないなどがあり、一人ひとりの詳細な内容について伝えきれない現状について、園全体で課題として改善に向けて動いています。本年度の園内研修では、伝え方や話のポイントなどフィードバックについて学ぶ機会を設けて、保護者の満足度に繋がるように日々取り組んでいます。</p>			
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p>どろんこ会グループの理念に沿った保育を通し、子どもの健やかな成長を育んでいます</p> <p>座禅、雑巾がけ、リズム体操、生き物の世話、畑仕事、「銭湯でお風呂の日」、商店街ツアーなど、どろんこ会グループの特長保育を通して、けがをしにくい強い体を育てる、自分でできることは自分でする、生死や食の巡回を知るなど「私たちが育てる6つの力」を身に付けていけるよう援助しています。自ら考えて自分でできる事は自分で取り組もうとする感覚を養い、子どもの主体性、自主性を尊重した保育をしています。日課でも活動を自分で選べるようにする、決めた事を最後までやろうとするなどの経験を通して成長していく姿が見られています。</p> <p>コーナーやゾーンを設定して、年齢ごとに子どもが遊びに集中できる環境を整えています</p> <p>0、1歳児クラス、2歳児以上のクラスではそれぞれ異年齢保育を取り入れて、子どもが好きな場所で、好きなおもちゃを選んで遊べる環境を整えています。広い保育室の中での安全にも配慮できるよう、コーナーを設定する、マットなどの敷物の上でブロックを広げる、製作などができる場所を設定するなどのゾーンもうまく活用して、お互いの遊びが交わらないようにしています。ハサミやのり、素材を自由に使って廃材遊びを楽しむ、次の日も同じ遊びができるよう保管できる場所を作るなど、遊びの発展性や継続性も確保できる環境を整えています。</p> <p>戸外活動では四季折々の遊びを取り入れ、子どもの健康な体作りを支援しています</p> <p>園庭と運動場には、築山や畑、ヤギやニワトリも一緒に過ごすのどかな環境の中で、十分に体を動かすことができる環境を確保しています。生き物の世話では命の大切さを知る、野菜の栽培を通して口に入るまでの様々な過程を学ぶ機会を設けています。園の周りには公園も多く、雑木林や河川敷もあり、四季折々の自然の移り変わりを感じながら散歩を楽しんでいます。夏場は川遊びの時間を設定しており、水辺のリスクを子どもにも分かりやすいように紙芝居を作って伝える、遊びの前に約束を確認するなど子ども自身で危ないことを認識できるよう支援しています。</p>			

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>行事内容はスタッフ間で話し合い、子どもの成長した姿を反映できるようにしています</p> <p>行事の開催にあたっては、毎年内容についてスタッフ間で話し合いながら、子どもの成長した姿や日ごろの保育の中で興味のある事を取り入れています。各クラスの担任が「子どもたちにとって何が必要か」を考えて、行事を経験する事でより成長に繋がり、自信を持てるなど、プラスに作用していけるように支援しています。5歳児クラスの生活発表会での取り組みでは、お手玉、縄跳びなど得意な事を一人ずつ披露しており、本番のみではなく自分で練習を重ね、本番に向けて頑張る姿を引き出し、取り組みの過程でも主体性を大切にしています。</p> <p>友達と協力して一つの事を成し遂げる過程を経験し、他者への思いやりを育てています</p> <p>運動会や生活発表会では、子どもたちが主体となり、何をするのか内容を協議しながら、目標に向かって作り上げていく過程を大切にしています。友達やスタッフの意見を聞きながら、自分がどうしたいのか決めていく事で他者の考え方や気持ちにも気付けるよう配慮しています。友達との関わり合いの中から、仲間意識や達成した時の喜びを共有し合い成長に繋げています。運動会は0歳児クラスから参加しますが、日ごろの保育での取り組みを行事に反映し、自信を持って楽しく取り組める事を大切に競技内容を組み立てています。</p> <p>保護者との協力体制を基に、関係者全員が共に成長できる場となるよう目指しています</p> <p>保護者には子どもたちがどのような経緯で行事の内容を決定したのか、日々の保育の内容を生かしている事についても丁寧に説明しています。本園では「おやじの会」「どろんこサポーターズ」という自主的な集まりの保護者の会があり、行事の際の荷物の運搬、会場設営、受付、川遊びの際の見守りなど、負担のない範囲で協力し合える関係性が築けています。子どもの成長と一緒に共有していく事で、何かあった時や不安についても寄り添える関係性ができており、本園は子どもに関わる大人も共に成長できる場所となるよう目指しています。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもが好きな遊びを遊べる環境を整備し、お迎えを待てるよう配慮しています</p> <p>夕方の時間は午睡後も園庭で遊べる時間を確保し、たくさん遊ぶことができる環境を整えています。室内遊びでも好きな場所を選んで、好きなように過ごして良い環境を設定しています。保育室内は静かに遊べる空間と、活発に遊べる空間を分けて、自分が好きな場所を選んで集中して遊べる時間にしていきます。疲れた様子が見られる子どもには、少し落ち着ける場所や、横になって過ごすこともできるようにして、無理なくお迎えを待てるよう配慮しています。延長保育の時間には、特別に塗り絵や折り紙、年齢に応じて細かいパーツのおもちゃを提供しています。</p> <p>合同保育での安全に配慮し、不安やさみしさを感じることがないよう環境を整えています</p> <p>朝と夕の時間は全クラスと一緒に過ごす合同保育を取り入れているため、年齢が小さい子どもも安全に過ごせる環境を整えています。18時過ぎからは全園児での合同保育になりますが、それまでは昼間と同じ保育室で過ごせるよう配慮しています。少しずつ人数が少なくなっていく中でも、不安やさみしさを感じることがないように、スタッフが密に関わりながら一緒に遊びや話をして過ごすなど、家庭的な雰囲気作りをしています。19時過ぎには希望制で夕食を提供し、スタッフも一緒にテーブルにつき、くつろぎながら過ごせる時間にしていきます。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>バイキング形式の食事を提供し、子どもが自分で適量を盛り付けて食事を楽しんでいます</p> <p>2歳児クラスからバイキング形式の給食を提供しており、自分が食べられる量を自分で盛り付け、好きな場所を選んで食べる環境を整えています。外遊びができる日は、9時には散歩や園庭遊びなどの戸外活動を行い、しっかりと体を動かす事で、給食の時間にお腹が空くというリズムを大切にしています。お腹が空くから食事がおいしく感じられる、食べようとする意欲も湧き、健康な体作りに繋がるというサイクルを大切に保育を組み立てています。0、1歳児クラスもスタッフと一緒にテーブルに座り、楽しい雰囲気になるよう工夫しています。</p> <p>毎月の給食会議で各クラスの子どもの喫食状況を共有し、より良い献立に繋げています</p> <p>毎月の給食会議では、各クラスからの喫食状況の報告、離乳食の子どもについては形態が適切であるか、クラス担任と給食担当で情報共有しています。給食では素材の味を生かせるよう出汁を効かせる、旬の食材を取り入れる、米は法人が自給自足している安心、安全なものを提供するなど、食の安全性や食材にも配慮しています。献立には手づかみ食として、人参を半分にしたものなど手でつかめるものを提供して、自分で食べる楽しさや咀嚼力を養える内容にしています。園庭で栽培した野菜は給食で提供し、食材を知る機会も大切にしています。</p> <p>年齢に合わせて食育を立案しており、体験や学びなど様々な内容を盛り込んでいます</p> <p>食育計画は年齢に合わせて身に付けたい食習慣、体験などを盛り込んで食への興味を引き出しています。園庭の畑では年間を通して野菜や花を植えて、子どもたちはスタッフと一緒に畑仕事に関わっています。収穫した野菜は子どもたちがカレー、ピザ、ラトウイユを作って食べましたが、普段は野菜をあまり食べない子どももたくさん口にする姿が見られています。0歳児クラスはビニールに入れたトマトを潰す、1歳児クラスは野菜を洗う、2歳児クラスが収穫する、3歳児以上のクラスは包丁を使用し調理するなど全園児が参加できるように工夫しています。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>保健指導を年間行事に組み込み、季節や年齢に合わせた内容を子どもに伝えています</p> <p>保健指導を行事の中に組み込むことで、年齢や季節に合わせた学びを必要な時期に子どもに伝えていける体制を整えています。保健指導は手洗い、うがい、トイレの使い方、歯みがき指導、3歳児クラスから性教育を行って、子どもが体調管理や自分の体の仕組みへの意識や関心を高めていけるよう支援しています。命についても学びの場を設けており、子どもたちが育っていく中で壁が立ちただかった時にも、命を捨てるという選択をするのではなく、生き抜く力や自己肯定感を高めていけるように、保育の中で自己肯定感を伸ばせる関わりを基本としています。</p> <p>嘱託医や療育など専門職の意見も聞き取り、より良い保育環境の整備に努めています</p> <p>嘱託医が検診に来る際には、発達についての相談を行って個々の特性に合わせた支援や見守りができる体制を整えています。健康面で気になる事があれば、電話で相談するなど随時連携を取りながら子どもの健康管理に努めています。配慮が必要な子どもは、市の巡回指導を活用して保育中の様子から具体的なアドバイスを受けて、保育の中で生かしています。療育など専門機関に通所している子どもには、保護者の了承のもと療育先とケース会議などを通して支援方法について共有し、連携を取りながら子どもの育ちを支援しています。</p> <p>入園時にどろんこ会グループにおける健康維持の取り組みについて説明しています</p> <p>入園時に重要事項説明書、入園のしおりに園の健康維持に関する取り組みについて記載しており、保護者に説明して安心に繋げています。睡眠時の呼吸確認の間隔、保育室内の湿度や明るさなどの環境面、布団回りや衣服についての留意点などについても丁寧に説明して基本姿勢を伝えています。感染症発生時には園内掲示や連絡用アプリでの配信で注意喚起をするとともに、毎月の保健だよりには免疫力を高める日々の習慣、裸足保育、薄着保育についてなど園の取り組みを伝え、家庭の理解を得ながら子どもたちの丈夫な体作りを実践しています。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>保護者懇談会や行事などを通じて保護者間の関係性が広がるよう支援しています</p> <p>年2回実施している保護者懇談会では、子どもたちの成長報告、年度末に目ざす姿などについて説明し、見通しを持てるよう配慮しています。懇談会では悩みの共有や今子どもが興味のある事、5歳児クラスでは就学に向けての話題などを提供して、保護者同士の関係性が広がるよう支援しています。保護者の自主的な会として「どろんこサポーターズ」「おやじの会」があり、発表会では落ち葉プールや焚火の設営するなど、行事の運営、運動会や川遊びの際の見守りの手伝いなどを通して、保護者同士が交流する姿が見られています。</p> <p>連絡用アプリやドキュメンテーションを活用し、子どもの様子を発信しています</p> <p>保護者には連絡用アプリでの連絡帳を使用して、2歳児クラスまでは毎日食事量、排泄、睡眠など生活全般を園と家庭とで共有しています。3歳児以上のクラスではクラスの様子を毎日配信しています。その日の日課を伝えることで、家庭での会話となるように働きかけています。毎月の保育目標に沿った活動や行事の取り組みの様子については、ドキュメンテーションなどを活用し、ねらいに沿って、どのように保育を提供しているか写真付きで紹介することで、園の保育への理解に繋げ、子どもの成長をより実感してもらえるよう努めています。</p> <p>本園の保育の取り組みについては、保護者に丁寧に説明し理解に繋げています</p> <p>本園では3歳児クラスから性教育を行っています。目的、ねらいを保護者に説明し、性教育を通して自分の体をより大切にしていける事を保護者にも共有しています。「生死を知る、食の循環を知る」一環として、本年度は初めて鶏をさばく過程を子どもに見せる機会を設定しました。参加は各家庭の意向を尊重できるよう自由参加にしました。事前に保護者への説明と、子どもにはぬいぐるみを使って工程を説明するなど、導入を丁寧にいき、食育として「命をいただく」機会を設け、子どもが何か感じるができるようにしています。</p>		
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の人や施設での交流を通じて、子どもが多様な体験ができる機会があります</p> <p>市の事業であるオオムラサキ(国蝶)を飼育している人と交流を持ったことで、蝶や虫、自然についての興味が広がっています。ボランティア団体との交流では、川に住む魚を見たり触ったりするなどの体験をしています。近隣の公園のプレイパークにも参加して、コスモスの花と一緒に植えたり、柿をもらったりするなど交流しています。毎月の「銭湯でお風呂の日」には、園バスを使って少し距離のある場所に出かけ、友達や銭湯に来た人たちとの交流を楽しみながら、公共の場所でのマナーについても学べる良い機会になっています。</p> <p>子育て支援の拠点として行事へ招待するなど、地域と交流しています</p> <p>商店街ツアー、「銭湯でお風呂の日」などでの交流を通して、子どもたちが地域についても興味や関心が持てるよう支援しています。子育て支援としては、園開放、子育て相談、着ない服のフリーマーケット「勝手籠」の設置、地域向けの広報誌「ちきんえつく」の発行などを行い、園の資源を地域に還元していけるよう努めています。運動会や発表会には地域の人を招待しています。高齢者施設とは直接顔を合わせての交流はまだ再開していませんが、暑中見舞いを届けるなど可能な範囲で交流して、子どもが地域の人と触れ合える機会を確保しています。</p>		

調査対象

保育園を利用している88世帯を対象に調査を実施しました。在園児は99名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は、Webアンケートシステムを使用し、無記名方式で行いました。案内は施設を通じて利用者へ配付し、集計は評価機関が行いました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数
利用者家族総数(世帯)
共通評価項目による調査対象者数
共通評価項目による調査の有効回答者数
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	99
利用者家族総数(世帯)	88
共通評価項目による調査対象者数	88
共通評価項目による調査の有効回答者数	39
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	44.3

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が18人(46.2%)、「満足」が15人(38.5%)で「満足」以上の回答は合計33人(84.6%)でした。

自由意見には、「先生方が明るく、おおらかな雰囲気とても良いと思います」「先生たちは子どもたちの気持ちをくみとり、個々に対応した保育をしてくださり、ありがとうございます」「個人個人を大事にしてくれています」「園の雰囲気は、とても穏やかにのびのびと過ごせる感じで満足しています」「自然が多く環境が良いです。動物とのふれあいが多いです」「保護者へのさまざまな配慮があります」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」で94.9%、「保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか」で92.3%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が見取れます。また、「外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか」で35.9%と、ほかの項目に比べると「はい」の回答率がやや低くなっています。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	37	2	0	0
「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。 自由意見には、「日々子どもの成長を感じていますが、きっと園の生活もその一部になっていると思います」「自然に触れながら、のびのびと生活できます」「友達との関わり方、順番やルールを守るなど、だんだんと分かってきているように感じます。園で生活することで、身につけてきたのではないかと思います」「異年齢保育のため、違う年齢の子どもたちともたくさん関わる機会があります」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	34	5	0	0
「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が12.8%でした。 自由意見には、「家でも、園で歌っている体操の歌などを、楽しそうに歌っています」「自分たちで野菜を育てたり、柿をとってジャムにしたり、食育もしてもらっています」「毎日のように園の出来事を話してくれるので、きっと楽しんでいるのだらうと思います」「いろんな体験、経験をさせてくださいます」「季節ごとにいろいろなイベントがあり、親の私も楽しそうだと思って見えています」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	34	5	0	0
「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が12.8%でした。 自由意見には、「市販のものではなく、いつも料理をもらって、体に良いものを食べさせてもらい、とてもありがたいです」「季節のものを取り入れるなどしていただいている、普段の食事の参考にもさせていただきます」「保護者も一度食事をさせていただきますが、とてもおいしかったので、子どもも食べてくれているのだらうと思います」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	37	2	0	0
<p>「はい」が94.9%、「どちらともいえない」が5.1%でした。 自由意見には、「川遊びなど、外での体験が多く、とても満足です」「公園などにも、よく連れていってくれています」「毎日のように、どこどこへ行ったよなどと話してくれるので、きっと戸外遊びなども楽しいのだろうと思っています」「自然と触れ合う保育をしてくれていて、助かっています」「子どもと一緒に、生物の飼育をしてくれます」「どろんこになって遊べます」「やぎや鶏を飼っています」などの声がありました。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	36	0	1	2
<p>「はい」が92.3%、「いいえ」が2.6%、「無回答・非該当」が5.1%でした。 自由意見には、「急な場合も快く対応してくださり、本当に感謝しています」「とても助かっています」などの声がありました。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	28	8	3	0
<p>「はい」が71.8%、「どちらともいえない」が20.5%、「いいえ」が7.7%でした。 自由意見には、「災害訓練などをされているとのことでしたので、いざという時には、その成果を発揮してもらえたらと思います」「月に一度、訓練もしてくれています」「登園していない場合、電話で連絡をしてくださるなど、安全に配慮をされていることがわかります」「子どもの危険を管理して、グラウンドの滑り台などを危険と判断すれば、すぐに撤去してくれるなど、対応も早いです」などの声がありました。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	5	0	0
<p>「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が12.8%でした。 自由意見には、「土曜日など、保護者が参加しやすい日程に設定してくださっています」「基本的に大きな催しは、土日開催してくださるので、助かっています」などの声がありました。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	30	7	2	0
<p>「はい」が76.9%、「どちらともいえない」が17.9%、「いいえ」が5.1%でした。 自由意見には、「日々お迎えに行くとき報告してくださるので、こちらとしても気になることなどを相談しやすいです」「面談の時も、困っていることはないか、丁寧に聞いてくださいました」「毎日、1日の様子を話してくれるので、安心できます」「先生たちが皆声をかけてくれ、笑顔でいてくれるので、預ける側も安心してお願いできます」「どんな役職の方々も、我が子に関心を持って接してくださるので、とても心強いです」などの声がありました。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	27	7	5	0
<p>「はい」が69.2%、「どちらともいえない」が17.9%、「いいえ」が12.8%でした。 自由意見には、「どろんこ保育園なので泥が多いですが、先生たちが掃いたり、子どもたちが雑巾がけをしたりして、清潔にしてくれています」「裸足だと多少足の裏が汚れますが、基本的には綺麗にされているかと思います」などの声がありました。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	31	5	3	0
<p>「はい」が79.5%、「どちらともいえない」が12.8%、「いいえ」が7.7%でした。 自由意見には、「毎日大変な中、とても丁寧に配慮をしてくださっていると思います」「とても優しくお声がけいただけます」「先生たちの雰囲気がよく、話しやすいです」「明るく元気に毎日、出迎えてくれます。親としてもその笑顔に安心して、子どもを預けることができます」「職員の皆様がいつも笑顔で、親切に対応をしてくださり、本当に感謝しています」などの声がありました。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	32	6	1	0
<p>「はい」が82.1%、「どちらともいえない」が15.4%、「いいえ」が2.6%でした。 自由意見には、「すぐに連絡をしてください。個別の対応をさせていただきます」「保護者が就労している事情を考慮して、伝えてくださっているとします」「日中、転んだけがや虫刺されなども報告してくれ、翌朝には必ず確認をしてくれます。担任ではない先生にも確認されるので、園で情報共有をしていただけていますと感じます。発熱なども、職場に連絡をいただけます」などの声がありました。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	23	12	1	3
<p>「はい」が59.0%、「どちらともいえない」が30.8%、「いいえ」が2.6%、「無回答・非該当」が7.7%でした。 自由意見には、「小さなけがでも、伝えてくださっています」「小さくて言葉がしゃべれないときは、噛みつきなどもありましたが、その事も、隠さず報告をしてくれまます」「きつとうまく対応してくれるでしょう」「まだトラブルがありません」などの声がありました。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	28	9	2	0
<p>「はい」が71.8%、「どちらともいえない」が23.1%、「いいえ」が5.1%でした。 自由意見には、「子どもたちの意思を尊重してくださっているとします」「子どもたちの個性を尊重し、お忙しい中でも個に応じた対応をして頂き、感謝しかありません」「そう信じています」などの声がありました。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	28	7	0	4
<p>「はい」が71.8%、「どちらともいえない」が17.9%、「無回答・非該当」が10.3%でした。 自由意見には、「そのようなことがないので、わかりません」などの声がありました。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	34	4	1	0
<p>「はい」が87.2%、「どちらともいえない」が10.3%、「いいえ」が2.6%でした。 自由意見には、「わかりやすいです」などの声がありました。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	22	8	4	5
<p>「はい」が56.4%、「どちらともいえない」が20.5%、「いいえ」が10.3%、「無回答・非該当」が12.8%でした。 自由意見には、「思いのほか、早い対応をされています」などの声がありました。</p>				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	14	11	11	3
<p>「はい」が35.9%、「どちらともいえない」が28.2%、「いいえ」が28.2%、「無回答・非該当」が7.7%でした。 自由意見には、「そこまで不安や不満を話したことがないので、今回そのようなことがあるのを初めて知りました」などの声がありました。</p>				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証